

令和7年8月20日

瀬戸市議会 議長
富田 宗一 様

(陳情者) 瀬戸市

プラスチック製容器包装の月2回収集を、週1回に収集するように求める陳情書

(陳情趣旨)

愛知県の令和2年度市町村別の順位は、残念ながら44位(一人一日当たりの家庭系の量・611g)が5年度に23位(472g)と139g(対比で22.7%)減量ができました。

「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画・令和6年度～15年度」の前処理基本計画では、晴丘センターのごみ処理・処分量が、平成25年度で33,558トンが10年後の令和4年度に32,334トンに減量されましたが、対比率でみると3.7%しかできませんでした。

この遅れが3月定例会議の代表質問で「市長は、ごみ袋値上げを凍結してもごみ減量ができるとされていました。現状、家庭系可燃ごみは若干減っているが、資源ごみと合わせると総量はそれほど減っていません」と指摘されました。

私は、傍聴していましたので令和5年度の実績が加味されていないことに気がおかしいと思いました。

昨年の9月定例市議会で、5年度の決算が審議されてプラスチック製容器包装の月2回収集がされて、実績を見ますとプラスチック製容器包装の回収量が、前年度の322トンから788トンと224%と増えています。ミックスペーパー70%と増加し、新たに剪定枝等が回収されました。

前年比で、資源物回収の合計が5,875トンから6,740トンへ114%に増加して、リサイクル率の上がった状況を見ていただきたいと思います。

全体的に、5年度(清掃事業の概要・令和6年度)は、平成25年度から11年目になりますが、ごみ処理量が対比で10.1%まで削減されました。

さて、週1回の収集については、昨年の9月市議会に同様な陳情をしましたので、その後の動向について簡潔に述べさせていただきます。

3月市議会代表質問の中で、「市長と地域の懇談会」で多くの人から週1にしてほしいと多くの意見があったと発言があり、私もその通りだと思っています。



環境課は、令和5年に6年度からの中期事業計画（3年間）に週1を盛り込もうとした事実から見ても、瀬戸市として必要を感じ取っていました。残念なことに財政事情、優先順位の低さが壁になり見送られました。

前回の陳情書でも愛知県が令和3年度に月の収集回数を調査した資料を見ますと、市町村54の内34市町村が週1を実施していました。まだ、実施していない10市町村の中に瀬戸市も含まれていました。

同調査の令和6年度を見ますと、38ある市で週1が実施している28市になり、月2回のところに5市となっています。その5市は、瀬戸市、碧南市、江南市、田原市、長久手市でそれ以下に5市あります。全体を見ますと7割以上の市が週1を実施していますので、瀬戸市も行政水準を上げてほしいと思います。

財政的に見ますと確かに、清掃事業費は、令和5年度：17億5千万円（一般会計予算額比で4.25%）、6年度：20億5千万円（同比で4.5%）なっ

てきています。
令和4年度までは、一般会計予算額の割合は、3.5%台を推移していましたが、プラスチック製容器包装の収集、ミックスペーパーの回収などで大きく上が

ってきました。
これは、市民にごみ減量の必要性を呼びかける（発生抑制・再利用・再生利用）ともに晴丘センターの焼却炉の二酸化炭素を減らす目標、実施があります。そのために、本来は、優先順位が上位だと思っていますので、議員、皆様のお力で、実現できるように押し上げてください。

（陳情項目）

1. プラスチック製容器包装の収集を週1回にすること。